

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）

(2) 仕掛品の評価基準及び評価方法

個別法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

建物、構築物、車輛運搬具、機械装置及び什器備品・・・定額法による。

②無形固定資産（リース資産を除く）

ソフトウェア・・・定額法による。

③リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

(4) 引当金の計上基準

①賞与引当金

職員等に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期負担額を計上している。

②退職給付引当金

職員の退職金の支出に備えるため、期末退職給付債務の見込額に基づき計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,500,000	0	0	20,500,000
投資有価証券	180,000,000	0	0	180,000,000
小 計	200,500,000	0	0	200,500,000
特定資産				
退職給付引当資産	228,000,000	0	0	228,000,000
施設修繕積立資産	20,000,000	5,000,000	0	25,000,000
中央研究所 本館・研究棟建替資金	0	70,000,000	0	70,000,000
小 計	248,000,000	75,000,000	0	323,000,000
合 計	448,500,000	75,000,000	0	523,500,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	20,500,000	(20,500,000)	-	-
投資有価証券	180,000,000	(180,000,000)	-	-
小 計	200,500,000	(200,500,000)	-	-
特定資産				
退職給付引当資産	228,000,000	-	-	(228,000,000)
施設修繕積立資産	25,000,000	-	(25,000,000)	-
中央研究所 本館・研究棟建替資金	70,000,000	-	(70,000,000)	-
小 計	323,000,000	-	(95,000,000)	(228,000,000)
合 計	523,500,000	(200,500,000)	(95,000,000)	(228,000,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	1,788,881,021	1,404,332,534	384,548,487
構築物	677,589,878	624,578,777	53,011,101
車輛運搬具	377,000	358,150	18,850
機械装置	137,040,500	110,322,500	26,718,000
什器備品	484,113,702	369,678,323	114,435,379
リース資産	118,049,900	81,909,716	36,140,184
合 計	3,206,052,001	2,591,180,000	614,872,001

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第309回利付国債	50,000,000	50,135,000	135,000
第136回利付国債	35,000,000	41,013,000	6,013,000
第420回大阪府公募公債	20,000,000	20,148,000	148,000
第11回東京電力パワーグリッド社債	40,000,000	39,932,000	△ 68,000
第13回みずほフィナンシャルG期限前劣後債	35,000,000	34,755,000	△ 245,000
合 計	180,000,000	185,983,000	5,983,000

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益による振替額	1,633,140
合 計	1,633,140